

令和4年度

鳥獣被害対策交付金 鳥獣被害防止対策促進支援事業のうち

ジビエ広域搬入モデル実証支援事業

改良型移動式搬送機 / 移送用檻

『 運用マニュアル 』

(簡 略 版)

ALSOK ジビエコンソーシアム

2024, 03

安全に関する重要なお知らせ

ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、取扱いや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するため、「注意」「警告」の二つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



注意

取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、及び物的損害のみの発生が想定されるもの。



警告

取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



警告

- ①この商品は、害獣捕獲に十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。
- ②わなの設置及び害獣の捕獲には、都道府県の免許が必要です。
- ③安全の確保のため、絶対に改造は行わないでください。



注意

この商品は、捕獲した鳥獣を生きのまま処理施設へ搬入「生体搬入」を目的とした企業・団体・組合・個人様向に提供しております。

「生体搬入」以外でのご使用を検討される場合には、当社にご相談いただきますようお願いいたします。

ご不明な点などがありましたら、当社にお問い合わせ願います。

房総プラント(株)アルミ事業部

〒299-4216

千葉県長生郡白子町幸治3954-3

TEL 0475-33-3712

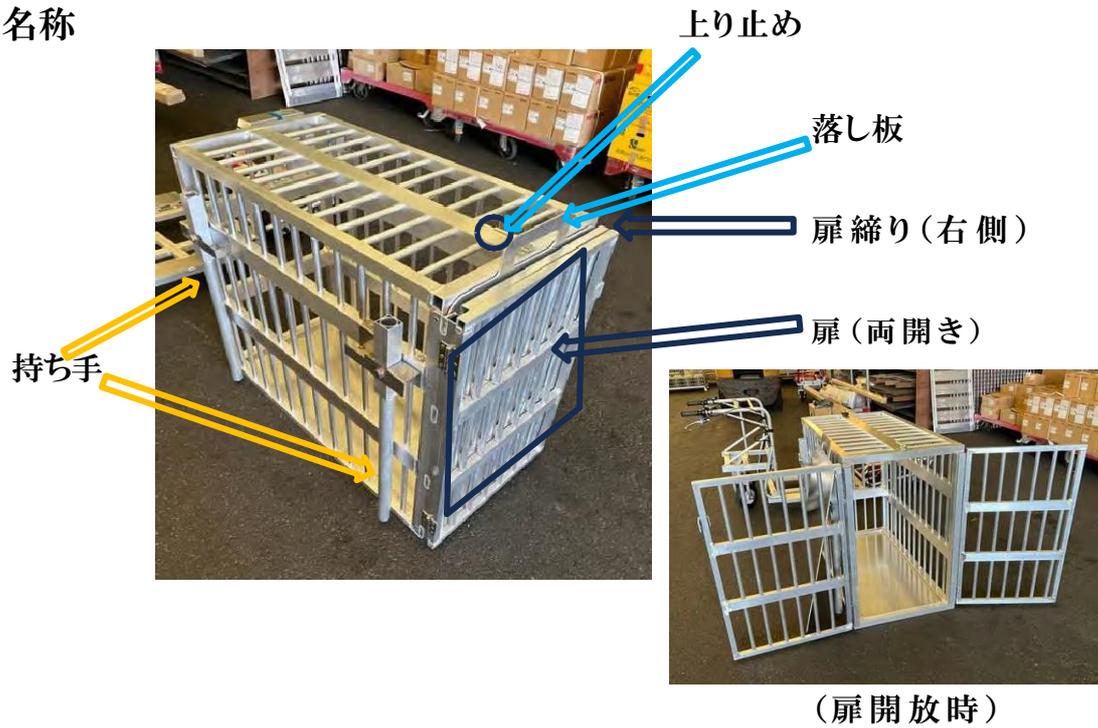
FAX 0475-33-3742

低床電動クローラー台車(搬送機)



「移送箱」操作手順

名称



ST-1 箱わなとの接続準備

扉締りを外し、扉(両開き)を開放する



ST-2 箱わなとの接続

移送箱を箱わなに寄せる



専用固定金具(移送箱付属品)

専用固定金具等(ラッシングベルトによる補強)で確実に固定する

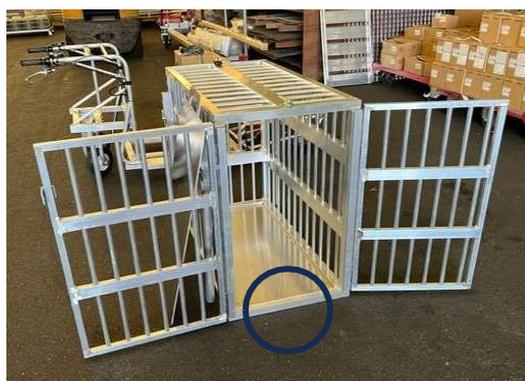
ST-3 落とし板上り止めを外し、落とし板を持ち上げる

移送箱に捕獲獣を追い込む



ST-4 落とし板を縦溝に沿って落とし、逃げ道を塞ぐ

重要（下端の溝に落とし板が確実に入っていることを確認）



ST-5 移送箱を移動し、扉を閉める （箱わなに近過ぎると扉が閉まりません）

扉締り を確実に占める



荷台シート（市販品）



（移送箱へ移し替えた状態）

※「移送箱」の搬送に関しては、布シート等（遮光性のあるもの）により「箱」を覆うことが、肉質の変化の防止上、およびアニマルウェルフェア上望ましい。

ST-6 移送箱を運搬車両まで運ぶ

A : 二人(補助員がある場合)で、運ぶ(持ち手を回転させ前後2人で持つ)



B : 一人(搬送機)で、運ぶ



低床電動クローラー台車(搬送機)

ST-7 運搬車両への積込み

リフト付き車両



軽トラック等(リフトが無い場合)



移送箱「INORI (猪檻)」 猪（鹿）生体搬送マニュアル

<p>1</p> 	<p>捕獲現場到着 捕獲従事者からの電話による捕獲連絡の後、合流し捕獲場所へ到着。</p>
--	---

<p>2</p> 	<p>移し替えに使用する道具を搬送車両から降ろす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①搬送機 ②移送箱 ③専用固定金具 ④ラッシングベルト (市販品) ⑤単管パイプ (市販品) 長さ2m程度 
---	--

<p>3</p> 	<p>捕獲獣の状況確認の写真を撮影① 到着時捕獲獣が生きており外傷等がないことを証明する写真を撮影する。 (トレーサビリティ)</p>
--	---

<p>4</p> 	<p>「移送箱」の「箱わな」への固定 「移送箱」の観音開きの扉を開け、「専用固定金具」とロープで「箱わな」へ固定する。 なお、捕獲獣の大きさ等により「移送箱」をラッシングベルトにより「箱わな」に固定し、「箱わな」と「移送箱」の連結を強化する。</p>
--	---

5



捕獲獣の「移送箱」への移し替え①
箱わなの正面扉を猪の体高位の高さで棒状の物で固定し、「移送箱」の扉を開け猪を「移送箱」へ移す。
捕獲獣が「移送箱」へ入りづらい場合は単管パイプにより箱わな内の移動範囲を狭め「移送箱」へ追い込む。

6



移送箱

捕獲獣を「移送箱」への移し替え②
捕獲獣を「移送箱」への移し替え終了後、「箱わな」と「移送箱」の「専用固定金具」を外し、観音開きの扉を閉め「移送箱」の扉をボルトで固定、「移送箱」上部のふたを、持ち上げ防止用のフックを掛ける。

7



捕獲獣の状況確認の写真を撮影②
捕獲獣が「移送箱」へ移し替え後も生きていたことを証明する写真を撮影する。
(トレーサビリティ)

8

1

2



「移送箱」を「搬送機」に乗せる
1名で「搬送機」の低床部分へ、移送おりの取っ手をつかみの引き上げる
(下記1⇒2⇒3順番で実施)。

1

2

3



※「移送箱」の搬送に関しては、布シート等（遮光性のあるもの）により箱を覆うことが、肉質の変化の防止上、およびアニマルウェルフェア上望ましい。



「移送箱」の固定
「移送箱」が移動時に「搬送機」からずれないようにラッシングベルトでしっかり固定する。



「移送箱」の「搬送機」による運搬車両までの搬送
「移送箱」を載せた「搬送機」を操作し、搬送車両まで運搬する。



「搬送機」の搬送車両へ積載
「搬送機」を搬送車両のリフトへ乗せる。
状況により縦、横どちらで乗せるか検討する。
リフトを操作し荷台の高さまで上げ「搬送機」を運搬車両の荷台へ収納する。
外気温の状況により荷台内の冷房を作動させ捕獲獣が熱中症になるのを防止する。



「搬送機」の搬送車両へ積載（リフト無し）
アルミラダーレール（市販品 長さ228cm 幅30.5cm 2本セット）を装着し、レールから外れないように留意しながら荷台に積み込む。
捕獲獣の重量が大きい場合は、補助員による補助が望ましい。

12		<p>工房到着 搬送車両からリフトを使用し「移送箱」を荷台から降ろす。</p> <p>リフトのない車両に関しては、アルミラダーレールを装着し、レールから外れないように留意し荷台から降ろす。</p>
----	---	---

13		<p>捕獲獣の一時洗浄 工房前室へ運び込む前に、屋外で高圧洗浄機を使用し泥等の汚れを洗い落とす。</p>
----	--	---

14		<p>工房前室への搬入 一時洗浄後2名で工房前室へ「移送箱」を運び込む。</p>
----	---	---

15		<p>生体搬送終了 工房前室へ「移送箱」を搬入し、捕獲獣の生体搬送を終了する。</p>
----	---	--

作業風景



搬送機へ載せ替え



搬送



車両へ積み込み



工房着



備考 2 成獣 メス 90.0cm 14.9kg

作業風景

現地到着



移し替え後



搬送機へ載せ替え



搬送



車両へ積み込み



工房着



2 成獣 メス 63.0cm 8.3kg